

平成26年度佐賀大学院医学系研究科学生表彰

◎ 医学系研究科博士課程4年 中山 敦 史

2014年10月18日～22日にオーストリアで開催された世界的にも大規模な欧州消化器病週間（UEGW）において、Adipose tissue promotes proliferation, differentiation and invasion of esophageal squamous cell carcinoma in vitro が口頭発表に選出された。更に学会より、travel grantとして発表者数2137名のうち40歳以下の発表者の中から特に優秀であった200名に対して支払われる€1,000の表彰を受けた。

◎ 医学系研究科博士課程1年 脇山 幸 大

2014年11月21日～22日に佐賀で開催された第12回がんとハイポキシア研究会において、「HIF-1 α と癌エネルギー代謝変容に着眼した新規胃癌治療の可能性」の演題がselected oralに選出された（受賞部門総発表者数50件、受賞部門総受賞者数4件）。このような研究会において大学院生の演題が選ばれたことは特記すべきことである。

◎ 医学系研究科博士課程3年 柴山 薫

2014年6月19日～28日にカンボジア（シアヌークビル）で、国際的な医療援助活動であるPacific Partnership 2014に参加した。諸外国の医療チームとともに現地病院の医療職者と看護技術や意見の交換をし、現地の小学校において毎日約800人の住民の診療介助や健康教育などを実施し、看護師として医療支援活動を行った。また、佐賀県内の肝炎コーディネーターとして、肝炎ウイルス検査受診の啓蒙活動を行っている。

◎ 医学系研究科修士課程1年看護学専攻 田中 沙 恵

2014年7月3日～19日に国際的な官民連携による医療援助活動「Pacific Partnership 2014」に日本のNGO看護師として参加した。フィリピン共和国レイテ島タクロバンを拠点とし、諸外国の医療職者と意見交換や地域住民に対する公衆衛生教育（合計1332名）を施行、レイテ島の保健医療や公衆衛生の向上において国際的に貢献した。また、毎週鹿島市においてインドネシア人看護師候補生の学習支援活動や佐賀大学の中国人留学生医師、佐賀大学の国際交流会館移住者の生活全般の援助を行うなど、貢献している。